

資料 2

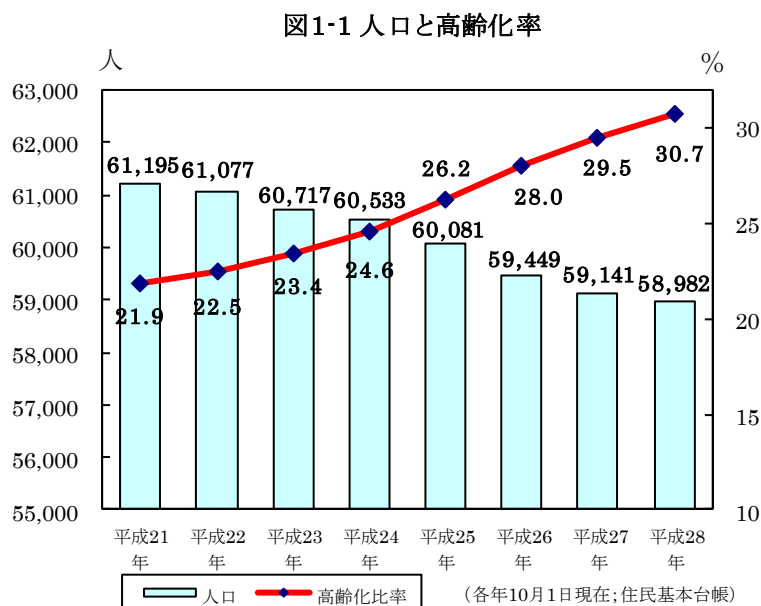
第 6 期介護保険事業計画の進捗状況について

1 第1号被保険者について

(1) 人口と高齢化率

本市の人口と高齢化率^{*1}は図1-1に示すとおりで、人口は年々減少しており、平成28年10月1日現在で58,982人であり、平成21年から見ると2,213人の減となっている。また、計画値58,241人との比較においては741人多く推移している。

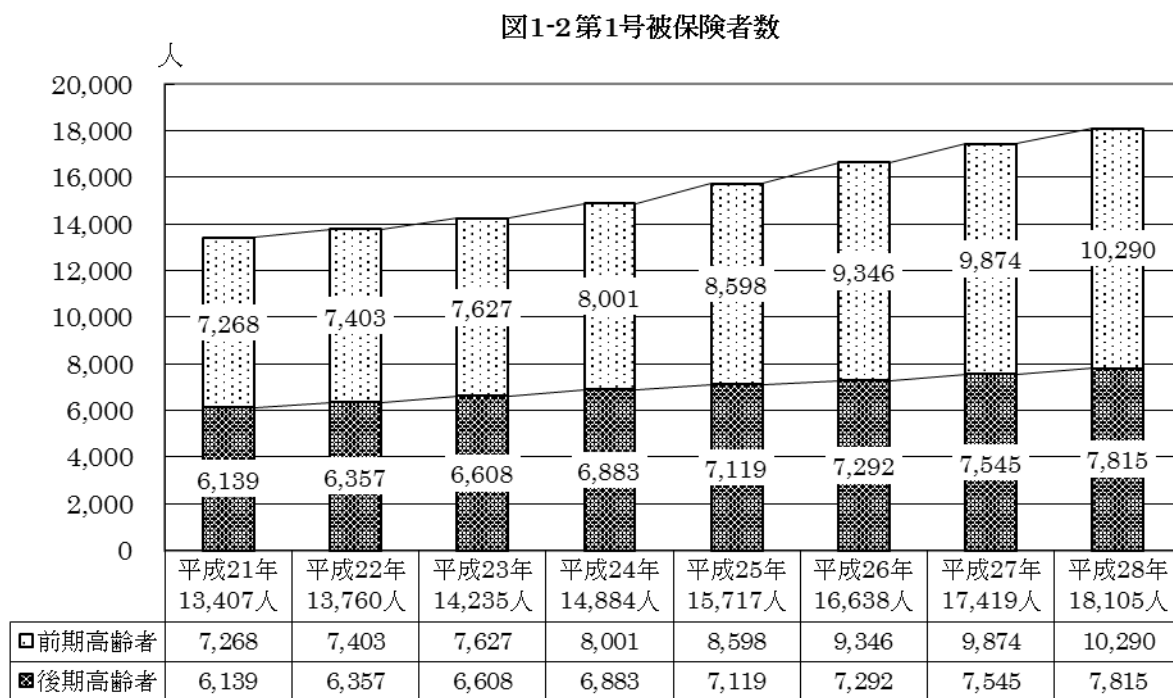
逆に高齢化率については平成28年において30.7%となっており、高齢化率は上昇している。



(2) 第1号被保険者^{*2}の状況

本市の第1号被保険者数は、図1-2に示すとおりで、平成28年において18,105人となり、ほぼ計画値どおり推移している。

また、前期高齢者^{*3}と後期高齢者^{*4}の構成比は、平成28年をにおいて前期高齢者56.8%、後期高齢者43.2%となっており、現状は前期高齢者の構成割合が年々高くなっている。



(各年10月1日現在の住民基本台帳)

(3) 今後の見込み

本市の年齢階層別人口（平成 28 年 10 月 1 日現在）は、図 1-3 のようになっている。

年齢階層別人口ではいわゆる「団塊の世代」が 65 歳を迎え、65 歳～69 歳の階層が一番多く、6,265 人となっており、図 1-4 のとおり、あと 2 年ほどは 65 歳以上人口が千人単位で増加する見込みとなっている。

図 1-3 年齢階層別人口（平成28年10月1日現在）

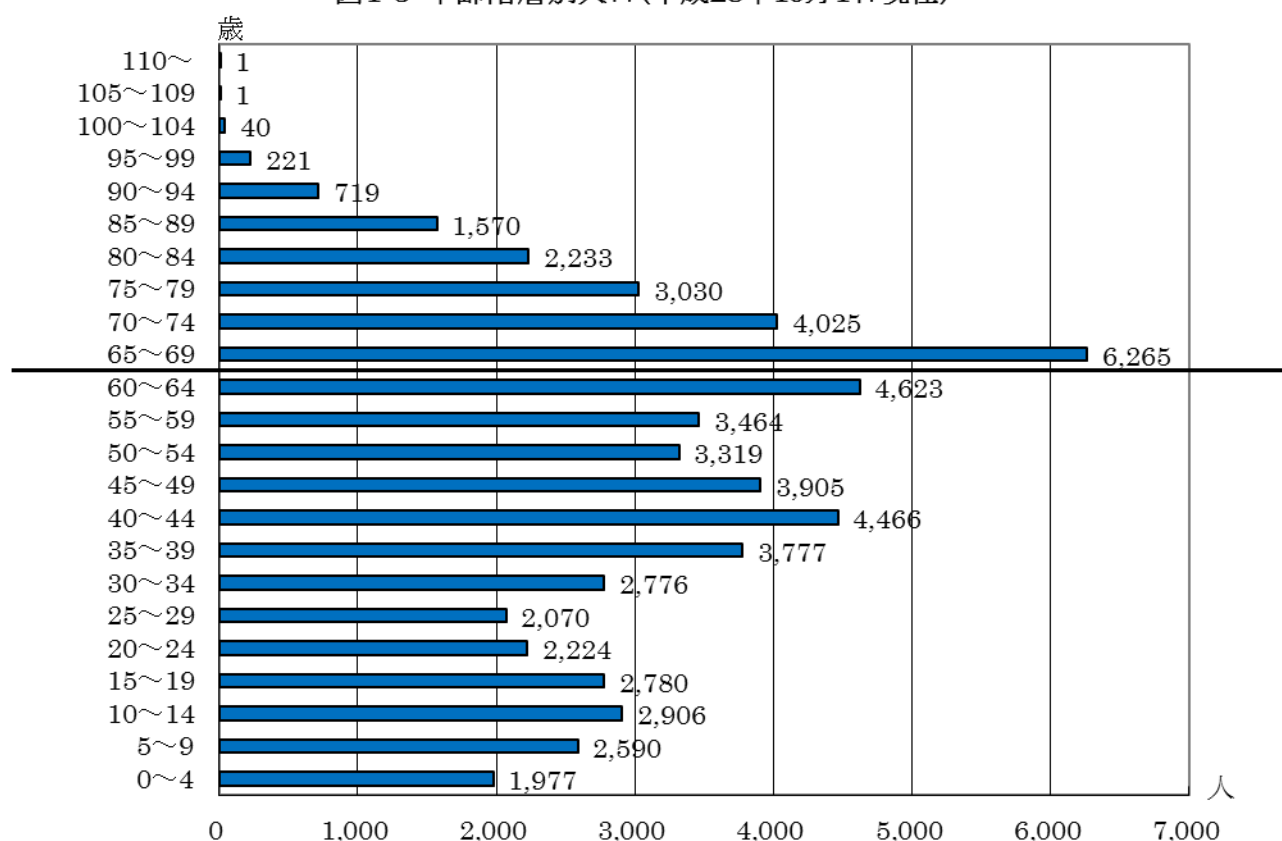


図 1-4 59 歳～69 歳の人口（平成 28 年 10 月 1 日現在）

年齢(歳)	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69
人口(人)	915	1,036	850	905	1,024	1,096	1,205	1,280	1,392	1,312	1,076

用語説明 No.1

***1 高齢化率** : 人口に占める 65 歳以上の人数の割合

***2 第 1 号被保険者** : 市に住所を有する 65 歳以上の方。ただし、住所の有無に関係なく、住所地特例*5 の制度がある。

***3 前期高齢者** : 65 歳以上 74 歳以下の方

***4 後期高齢者** : 75 歳以上の方

***5 住所地特例** : 介護保険施設に入所することにより、当該施設所在地に住所を変更したと認められる被保険者については、住所変更以前の住所地市町村の被保険者とする制度。

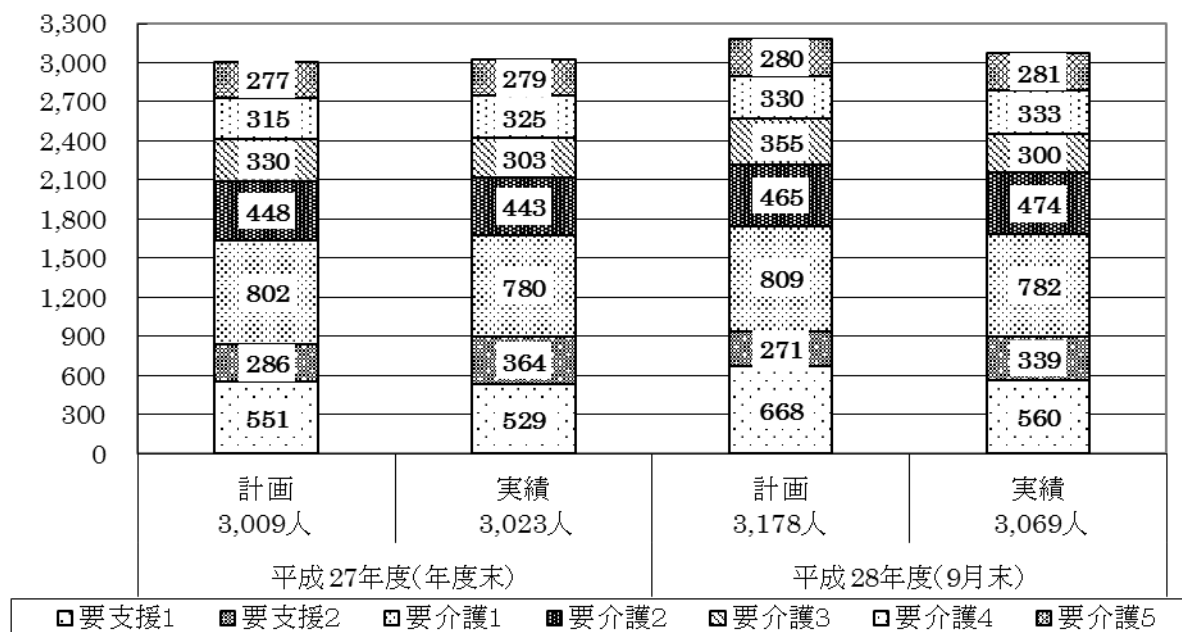
2 要介護等認定者について

(1) 要介護等認定者の状況

要介護等認定者数は、図2-1のとおりとなっている。

計画と実績を比較すると、ほぼ計画どおりの状況となっているが、要支援2については、計画に対して大きく増えている。要介護等認定者数については、今後も増加していくものと思われる。

図2-1 要介護・要支援認定者数



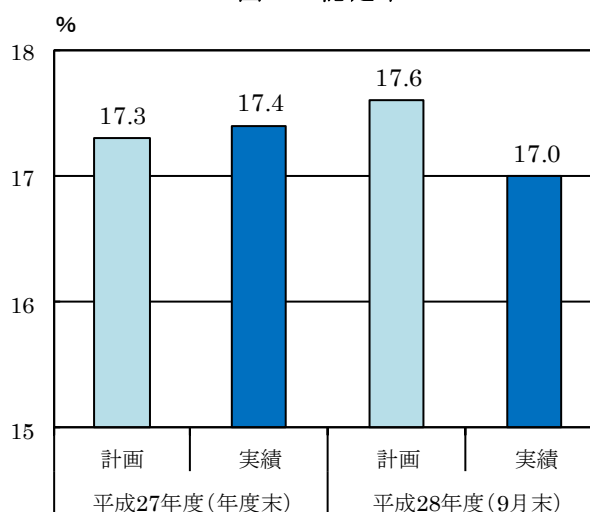
(2) 認定率*6

第1号被保険者の認定率は、図2-2のとおりである。

第6期計画では、認定率17.5%程度の横ばいで推移するものと推測した。

実績は、平成27年度において17.4%と増加し、おおよそ計画どおりであるが、平成28年度では17.0%とやや低くなっている。

図2-2 認定率



用語説明 No.2

*6 認定率：第1号被保険者数に占める要介護（要支援）認定者の割合

3 地域包括支援センターについて

(1) 地域包括支援センター設置状況

本市の地域包括支援センター設置状況は、図 3-1 のとおりとなっている。

日常生活圏域として、石狩地区、厚田地区、浜益地区の 3 圏域を設定し、石狩地区に 2 箇所、厚田・浜益地区に各 1 箇所、計 4 箇所設置している。石狩地区の 2 箇所はともに運営を委託しており、直営と委託、各 2 箇所で開催している。

図 3-1 地域包括支援センター設置状況

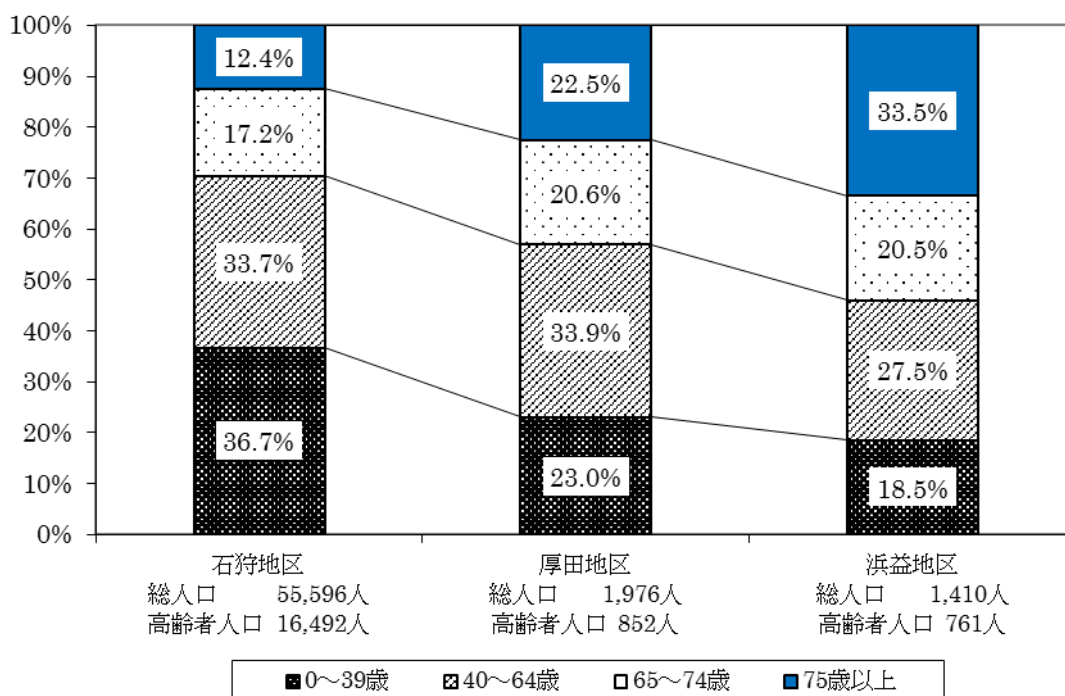
圏域	名称	運営主体	運営形態
石狩地区	石狩市北地域包括支援センター	医療法人 秀友会	委託
	石狩市南地域包括支援センター	医療法人 喬成会	委託
厚田地区	石狩市厚田地域包括支援センター	石狩市	直営
浜益地区	石狩市浜益地域包括支援センター	石狩市	直営

(2) 日常生活圏域ごとの人口

日常生活圏域ごとの人口の年齢階層別構成比率は図 3-2 のとおりとなっている。

高齢化率は、石狩地区で 29.6%、厚田地区で 43.1%、浜益地区で 54.0%となっている。

図3-2 圏域別人口構成比率



(平成 28 年 10 月 1 日現在の住民基本台帳)

(3) 日常生活圏域ごとの要介護等認定者の状況

日常生活圏域ごとの要介護等認定者数は図3-3のとおりとなっている。

図3-3 圏域別要介護等認定者数（平成28年9月末）

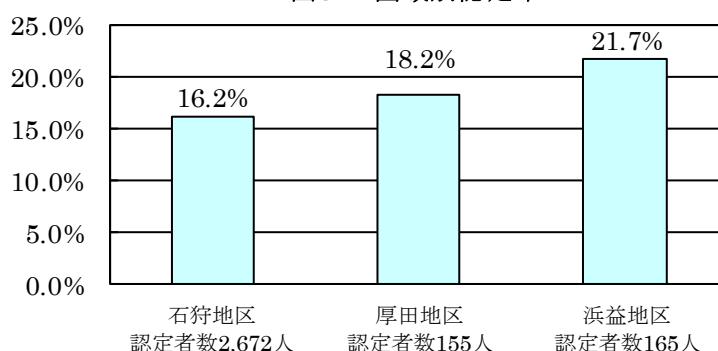
(単位:人)

圏域	介護予防			介護						合計
	要支援1	要支援2	小計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	小計	
石狩地区	504	303	807	693	419	253	273	227	1,865	2,672
厚田地区	16	8	24	31	26	20	24	30	131	155
浜益地区	34	22	56	40	17	17	19	16	109	165
住所地特例	6	6	12	18	12	10	17	8	65	77
合計	560	339	899	782	474	300	333	281	2,170	3,069

圏域別の認定率は図3-4のとおりとなっており、浜益地区の21.7%が一番高く、次いで厚田地区の18.2%、一番低かったのが石狩地区16.2%となっている。

全体の認定率は17.0%となっている。

図3-4 圏域別認定率



(4) 地域包括支援センターごとのサービス計画作成状況

介護予防サービス計画の地域包括支援センターごとの作成数は図3-5のとおりとなっている。

図3-5 センター別サービス計画作成数（平成28年9月分）

名称	計画作成件数
石狩市北地域包括支援センター	231
石狩市南地域包括支援センター	249
石狩市厚田地域包括支援センター	10
石狩市浜益地域包括支援センター	31
合計	521

4 介護サービス利用の実績

(1) 各サービス別利用人数

各サービス別利用人数は図4-1のとおりとなっている。

図4-1 介護（介護予防含む）サービス別利用人数（月間平均）

（単位：人）

サービス区分	平成27年度（年度末）			平成28年度（9月末）			平成29年度
	計画	実績	計画対比	計画	実績	計画対比	計画
訪問介護	476	766	160.9%	505	760	150.5%	539
訪問入浴	20	18	90.0%	21	17	81.0%	23
訪問看護	209	294	140.7%	215	321	149.3%	222
訪問リハビリ	13	19	146.2%	15	14	93.3%	18
居宅療養管理	239	277	115.9%	254	356	140.2%	262
通所介護	795	999	125.7%	896	814	90.8%	716
通所リハビリ	303	279	92.1%	324	231	71.3%	285
短期入所生活介護	70	87	124.3%	74	87	117.6%	78
短期入所療養介護	19	24	126.3%	20	32	160.0%	19
特定施設入居者生活介護	54	52	96.3%	54	55	101.9%	55
福祉用具貸与	659	709	107.6%	727	760	104.5%	720
福祉用具購入	15	17	113.3%	15	16	106.7%	16
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	22	17	77.3%	22	22	100.0%	22
夜間対応型訪問介護	0	0	-	0	0	-	0
認知症対応型通所介護	12	10	83.3%	13	6	46.2%	14
小規模多機能型居宅介護	46	43	93.5%	76	48	63.2%	72
認知症対応型共同生活介護	228	222	97.4%	228	223	97.8%	227
地域密着型特定施設入居者生活介護	0	0	-	0	0	-	0
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	50	50	100.0%	50	50	100.0%	50
複合型サービス	0	0	-	0	2	-	0
※地域密着型通所介護	-	-	-	0	267	皆増	-
住宅改修	20	21	105.0%	22	17	77.3%	23
居宅介護支援	1,514	1,508	99.6%	1,661	1,529	92.1%	1,414
介護老人福祉施設	234	239	102.1%	238	233	97.9%	243
介護老人保健施設	120	116	96.7%	120	112	93.3%	120
介護療養型医療施設	54	52	96.3%	54	46	85.2%	54

計画との比較でみると、訪問介護、訪問看護、通所介護の利用者が増え、通所リハビリテーション、認知症対応型通所介護の利用者が少ない状況となっている。

平成28年度の通所介護が計画対比で90.8%と少なくなっているが、これは、平成28年8月から定員数18人以下の小規模通所介護事業所が地域密着型サービスに分類され、「地域密着型通所介護」となった影響であり、通所介護と地域密着型通所介護を合わせた実績で見ると計画を上回る実績となっております。小規模多機能型居宅介護については、公募の時期を平成29年度としたことにより、平成28年度においてサービス提供量の増加がなかったため、計画対比で46.2%と低い割合となっている。

予防サービス・介護サービス別利用人数については、図4-2及び図4-3のとおりとなっている。

図 4-2 予防サービス別利用人数（月間平均）

（単位：人）

サービス区分	平成27年度（年度末）			平成28年度（9月末）			平成29年度
	計画	実績	計画対比	計画	実績	計画対比	計画
介護予防訪問介護	111	132	118.9%	113	127	112.4%	129
介護予防訪問入浴	0	0	-	0	0	-	0
介護予防訪問看護	38	34	89.5%	42	40	95.2%	44
介護予防訪問リハビリ	0	4	皆増	0	1	皆増	0
介護予防居宅療養管理	14	15	107.1%	16	8	50.0%	10
介護予防通所介護	286	282	98.6%	347	305	87.9%	139
介護予防通所リハビリ	82	66	80.5%	101	44	43.6%	60
介護予防短期入所生活介護	4	5	125.0%	4	3	75.0%	5
介護予防短期入所療養介護	1	1	100.0%	2	1	50.0%	1
介護予防特定施設入居者生活介護	4	5	125.0%	4	6	150.0%	5
介護予防福祉用具貸与	120	139	115.8%	132	153	115.9%	80
介護予防福祉用具購入	7	6	85.7%	7	5	71.4%	7
介護予防認知症対応型通所介護	0	0	-	0	0	-	0
介護予防小規模多機能型居宅介護	10	9	90.0%	16	10	62.5%	12
介護予防認知症対応型共同生活介護	1	0	-	1	1	100.0%	0
介護予防住宅改修	6	8	133.3%	7	6	85.7%	7
介護予防支援	525	499	95.0%	618	513	83.0%	330

図 4-3 介護サービス別利用人数（月間平均）

（単位：人）

サービス区分	平成27年度（年度末）			平成28年度（9月末）			平成29年度
	計画	実績	計画対比	計画	実績	計画対比	計画
訪問介護	365	634	173.7%	392	633	161.5%	410
訪問入浴	20	18	90.0%	21	17	81.0%	23
訪問看護	171	260	152.0%	173	281	162.4%	178
訪問リハビリ	13	15	115.4%	15	13	86.7%	18
居宅療養管理	225	262	116.4%	238	348	146.2%	252
通所介護	509	717	140.9%	549	509	92.7%	577
通所リハビリ	221	213	96.4%	223	187	83.9%	225
短期入所生活介護	66	82	124.2%	70	84	120.0%	73
短期入所療養介護	18	23	127.8%	18	31	172.2%	18
特定施設入居者生活介護	50	47	94.0%	50	49	98.0%	50
福祉用具貸与	539	570	105.8%	595	607	102.0%	640
福祉用具購入	8	11	137.5%	8	11	137.5%	9
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	22	17	77.3%	22	22	100.0%	22
夜間対応型訪問介護	0	0	-	0	0	-	0
認知症対応型通所介護	12	10	83.3%	13	6	46.2%	14
小規模多機能型居宅介護	36	34	94.4%	60	38	63.3%	60
認知症対応型共同生活介護	227	222	97.8%	227	222	97.8%	227
地域密着型特定施設入居者生活介護	0	0	-	0	0	-	0
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	50	50	100.0%	50	50	100.0%	50
複合型サービス	0	0	-	0	2	皆増	0
※地域密着型通所介護	-	-	-	0	267	皆増	-
住宅改修	14	13	92.9%	15	11	73.3%	16
居宅介護支援	989	1,009	102.0%	1,043	1,016	97.4%	1,084
介護老人福祉施設	234	239	102.1%	238	233	97.9%	243
介護老人保健施設	120	116	96.7%	120	112	93.3%	120
介護療養型医療施設	54	52	96.3%	54	46	85.2%	54

5 介護給付費の状況

(1) 介護給付費（介護予防含む）の状況

介護給付費の状況は図 5-1 のとおりとなっている。

平成 27 年度は、97.1%の執行率となっている。また、平成 28 年度については、平成 29 年 1 月時点での執行率は 70.9%となっており、年度末見込においても 95～97%程度の実績となるものと見込んでおります。

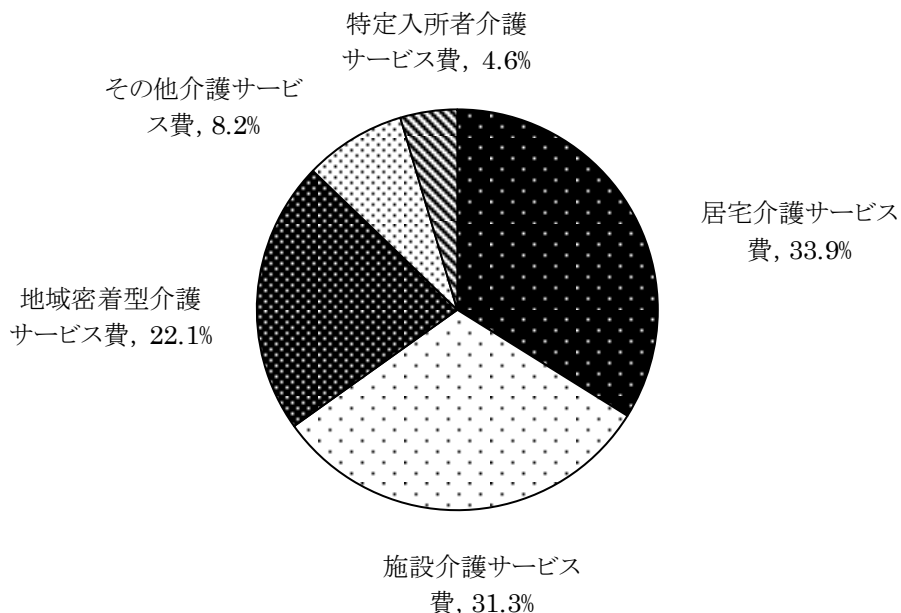
なお、平成 27 年度の介護給付費（介護予防含む）の構成割合は図 5-2 のとおりとなっている。

図 5-1 介護給付費（介護予防含む）の状況

(単位:千円)

介護給付費(介護予防含む)	平成27年度			平成29年度1月末		
	予算	実績	執行率	予算	実績	執行率
居宅サービス費	1,385,600	1,358,958	98.1%	1,304,370	951,754	73.0%
施設サービス費	1,345,424	1,254,057	93.2%	1,330,673	907,063	68.2%
地域密着型サービス費	884,532	884,532	100.0%	1,176,173	785,565	66.8%
その他介護サービス費	333,452	333,452	100.0%	339,877	272,622	80.2%
特定入所者介護サービス費	184,448	184,448	100.0%	151,980	133,711	88.0%
合計	4,133,456	4,015,447	97.1%	4,303,073	3,050,715	70.9%

図5-2 平成27年度介護給付費構成割合



6 地域支援事業の状況

(1) 地域支援事業の概要

地域支援事業は、できるだけ地域住民が要介護・要支援とならないように、また、要介護・要支援となっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるように、支援する事業で「要介護・要支援になるおそれのある方」（二次予防事業対象者*7）への介護予防プログラムの提供、年1回の健診等を通じて要介護・要支援になるおそれがないかどうかの定期的なチェック、虐待防止・早期発見を含む権利擁護や総合相談・介護以外の生活支援サービスとの調整などを行う。事業内容の詳細は下記のとおりとなっている。

1. 介護予防事業

(1) 二次予防事業

a. 二次予防事業対象者把握

ア. 二次予防事業対象者把握事業

加齢等による心身の生活機能の低下している高齢者を早期に発見し、介護予防のための効果的な対策を早期に行えるようにする。

⇒ **平成 27 年度実績：基本チェックリスト実施者数 407 人**
（その内）二次予防事業対象者数 272 人
（その内）介護予防事業参加者数 90 人

b. 通所型介護予防

ア. パワーリハビリテーション事業

マシンを使用した筋力トレーニング、及びバランストレーニングを実施し、日常生活動作能力の改善を図る。

⇒ **平成 27 年度実績：3 クール 72 回、延 512 人**

イ. 二次予防事業対象者施策事業

ミニデイサービスとして、軽体操や趣味活動、季節行事等を実施し、生きがい・仲間作りを促し、自立した生活を送れるよう支援する。

⇒ **平成 27 年度実績：48 回、延 458 人**

c. 訪問型介護予防

ア. 訪問指導事業

閉じこもり、認知症、うつ等のおそれがある（又はこれらの状態にある）高齢者を対象に保健師等が訪問し、必要な相談・指導を実施する。

イ. 食の自立支援事業

食事を作ることが困難な 65 歳以上の在宅の高齢者等に対し、月曜日から金曜日までの曜日のうち希望に応じて、夕食のサービスを提供する。

用語説明 No.3

***7 二次予防事業対象者**：要支援・要介護になるおそれのある高齢者のこと。基本チェックリスト等を実施し、“生活機能の低下がある”と認められれば「二次予防事業対象者」となる。第二次予防事業対象者と認められれば、「介護予防プログラム」を受けることができる。

(2) 一次予防事業

a. 地域介護予防活動支援

ア. 住民グループ支援事業補助金

市内に居住する65歳以上の高齢者等が少人数で参加するふれあいサロン（仲間づくり等を中心に健康や趣味を行う）を行う町内会等に対して、その経費の一部を助成する。

⇒ **平成27年度実績：14団体、324回、延5,109人**

イ. 生活管理指導員派遣・指導短期宿泊推進事業

・いきいきホームヘルプ

市内に居住する65歳以上の高齢者等で、介護保険法による要支援や要介護に該当しない者であって他の代替サービスが利用できないものに対し、ホームヘルパーが出向き、食事の世話、衣類の洗濯等のサービスを提供する。

ウ. 一次予防事業対象者機能訓練事業

・おげんき塾（石狩）

地域の会館を利用し、介護予防を目的に自主的に継続して活動できるよう健康講話やレクリエーション等支援を実施する。

⇒ **平成27年度実績：41回、延532人**

・健口教室（石狩）

高齢者が口腔ケアの知識を持ち、方法を学ぶことで、口腔衛生の向上を図る。

⇒ **平成27年度実績：4回、延32人**

・太極拳教室

比較的取り組みやすい運動である太極拳の普及により、高齢者の筋力・バランス能力の向上を図り、転倒予防・介護予防を図る。

⇒ **平成27年度実績：20回、延184人**

・健康運動個別指導（ヘルスアップ）

安全で効果的な運動を身に付けることで健康を維持し、自立した生活を送ることを目的に運動指導員が個々人の体力や目的にあった運動プログラムを提供、健康増進室のマシーンを利用して個別に運動指導を行なう。

⇒ **平成27年度実績：245回、延3,409人**

・地区高齢者健康教育

（石狩）各地区の高齢者クラブや団体等からの依頼により健康に関する講話や相談等を実施する。

（厚田）健康教育を実施し高齢者の健康増進、介護予防を図る。

⇒ **平成27年度実績：（石狩）26回、延413人**

（厚田）21回、延248人

・転倒予防教室

（厚田）保健センターにおいて、ボールやタオルを用いた筋力トレーニング、ストレッチ体操を実施することで、高齢者の転倒を予防し、健康維持できるよう支援する。

(浜益) 各地区の老人クラブの活動日にあわせて実施。筋力トレーニングや健康相談等を実施し、高齢者が介護予防の知識を持ち、健康維持できるよう支援する。

⇒ **平成 27 年度実績：(厚田) 14 回、延 322 人**
(浜益) 87 回、延 672 人

・認知症予防教室

(厚田) 脳の健康教室：くもん学習療法を取り入れ、認知症予防を図る。

(浜益) いきいき楽習：くもん学習療法を取り入れ、認知症予防を図る。

⇒ **平成 27 年度実績：(厚田) 24 回、延 301 人**
(浜益) 24 回、延 285 人

・いきいきリハビリ (厚田)

虚弱、閉じこもりがちな高齢者の心身活性化と健康保持を図り、要介護状態になることを予防する。

⇒ **平成 27 年度実績：36 回、延 347 人**

・リハビリ教室 (浜益)

在宅高齢者が健康でいきいきとした生活が送れるように介護予防を図る。

⇒ **平成 27 年度実績：24 回、延 418 人**

・はつらつ運動教室 (浜益)

運動不足になりがちな冬季間に健康的な生活を送るために、ストレッチ体操・ボール運動・ラダー運動等を実施することで、運動を生活に取り入れることができるよう支援する。

⇒ **平成 27 年度実績：14 回、延 142 人**

・骨太教室 (浜益)

骨粗しょう症予防のための学習と調理実習を実施する。

⇒ **平成 27 年度実績：2 回、延 12 人**

・浜益！男塾 (浜益)

男性高齢者同士が楽しみながら交流できる場所を提供し、引きこもりを予防する。

⇒ **平成 27 年度実績：6 回、延 67 人**

エ. 高齢者健康推進事業

高齢者等の体力の維持・増進を図るためにスポーツ大会を実施する。

⇒ **平成 27 年度実績：参加者人数 554 人**

オ. 高齢者生きがいがづくり推進事業

・横町寿の家

寿の家において、陶芸教室、舞踊・リズム体操教室を開催する。

⇒ **平成 27 年度実績：(陶芸教室) 延 244 人 (舞踊) 延 392 人**

・花川北憩の家

花川北憩の家において、陶芸教室を開催する。

⇒ **平成 27 年度実績：(陶芸教室) 延 2,204 人**

- ・ふれあい農園

市内の2箇所に農園を設置して、希望者に対して農園を貸与し、作物を栽培（収穫）してもらう。

⇒ **平成27年度実績：123人**

キ．地域住民グループ支援助事業

高齢者の閉じこもりを予防するため、市民が自ら企画、取材、編集等を行い高齢者が外出するきっかけとなるような情報の発信を行うこととして情報誌等の発行を行う。

⇒ **平成27年度実績：情報誌を年4回発行**

2．包括的支援事業

ア．地域包括支援センター運営協議会

石狩市における地域包括支援センターの公正性及び中立性の確保その他センターの円滑かつ適正な運営を図るため、石狩市地域包括支援センター運営協議会を設置する。

⇒ **平成27年度実績：開催回数 2回**

平成28年度より介護保険事業運営推進協議会に名称変更

イ．権利擁護事業

高齢者の権利擁護を図るため、成年後見制度、権利擁護事業の紹介や高齢者虐待の防止や早期発見につとめます。

⇒ **平成27年度実績**

＜高齢者虐待＞ **新規相談数 12件（新規認定数 9件）**

高齢者虐待防止ネットワーク会議（全体会議）1回

高齢者虐待防止ネットワークケース検討会議 24回

＜成年後見＞ **石狩市成年後見センター（市委託事業）相談数 1,224件**

石狩市権利擁護連携会議 3回

＜消費者被害＞ **高齢者防犯連絡網の活用 9回**

ウ．総合相談事業

高齢者やその家族が抱える、介護や心配ごとに関する相談を地域包括支援センターが窓口となり支援する。

⇒ **平成27年度実績：相談数（延件数） 3,318件**

エ．包括的継続的ケアマネジメント事業

高齢者に適切なサービスが提供されるよう、地域のケアマネジャーに対し支援や指導を行う。

⇒ **平成27年度実績**

地域ケア会議 全体会 4回

専門部会 4回

個別ケース検討会 14回

介護保険事業所関係者連絡会議 24回（厚田）

浜ケアネット 5回（浜益）

浜ケアネット学習交流会 1回（浜益）

3. 任意事業

ア. 紙おむつ支給事業

65歳以上の在宅の寝たきり高齢者等に対し、紙おむつの一部を給付し、その者の保健衛生の向上と家庭の経済的負担の軽減を図る。

⇒ **平成 27 年度実績：利用者数 91 人**

イ. 徘徊高齢者家族支援事業

市内に在住する65歳以上の認知高齢者等で徘徊を繰り返す者を介護している家族に、徘徊認知症高齢者等検索機器等を貸与する。

⇒ **平成 27 年度実績：利用者数 8 人**

ウ. 成年後見人制度等利用支援事業

判断能力が十分でない高齢者に対して、成年後見人制度の利用支援を行う。

⇒ **平成 27 年度実績：市長申立 1 件、申立費用助成 1 件、報酬助成 4 件**

エ. 住宅改修支援事業

担当の居宅介護（介護予防）支援専門員がいない要介護者等の住宅改修費支給申請を円滑に行うことを目的とし、「住宅改修が必要な理由書」を作成した居宅介護（介護予防）支援専門員に手数料を支給し支援する。

⇒ **平成 27 年度実績：対象者 7 人**

オ. 地域自立生活支援事業

・介護相談員派遣

適正な介護保険サービスが提供されるように介護相談員が利用者や事業所の橋渡しを行うため訪問活動等を行う。

⇒ **平成 27 年度実績：**

市内介護保険施設	6 箇所	延 105 回訪問
市内グループホーム	17 箇所	延 98 回訪問
小規模多機能	2 箇所	延 10 回訪問
高齢者向けの住宅等	16 箇所	延 65 回訪問
相談	153 件	

・配食サービス

食事を作ることが困難な65歳以上の在宅の高齢者等に対し、月曜日から金曜日までの平日のうち希望に応じて、夕食のサービスを提供する。

⇒ **平成 27 年度実績：利用者数 137 人 配食数 16,128 食**

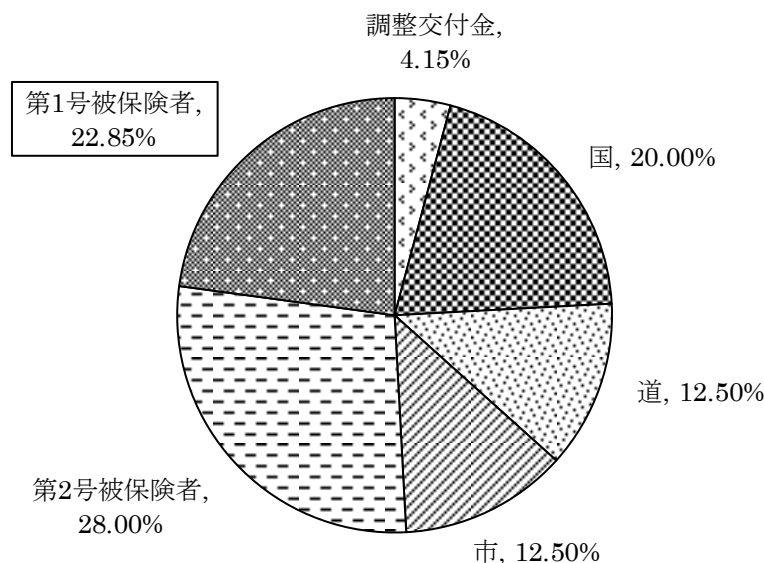
7 介護保険料について

(1) 算定方法

3年間の標準給付費見込額に対して各負担割合に当る額を負担することとなり、第6期の計画においては第1号被保険者が負担する標準割合は、平成27年度で22.85%となった。

標準給付費見込額を3カ年の推計した65歳以上の被保険者数で除したものが介護保険料となっている。

図7-1 第6期事業計画負担割合



(2) 石狩市の介護保険料

石狩市の介護保険料は図7-2のとおりとなっている。

第5段階（市民税課税世帯で本人市民税非課税）の保険料を基準に、第4段階10%、第3段階25%、第2段階37.5%、第1段階で55%の減額、逆に第6段階で20%、第7段階30%、第8段階50%、第9段階62.5%、第10段階では75%の増額となる。

図7-2 介護保険料所得段階別第1号被保険者数

		第1段階	第2段階	第3段階	第4段階	第5段階	第6段階	第7段階	第8段階	第9段階	第10段階	合計
保険料月額		2,272.5	3,156.3	3,787.5	4,545	5,050	6,060	6,565	7,575	8,206.3	8,837.5	
平成27年度 (年度末)	人数	3,698	1,420	1,308	2,971	1,870	2,286	2,280	1,213	216	532	17,794
	割合	20.8%	8.0%	7.4%	16.7%	10.5%	12.8%	12.8%	6.8%	1.3%	3.0%	100%
平成28年度 (4月1日時点)	人数	3,725	1,526	1,411	2,704	1,932	2,342	2,192	1,176	272	515	17,795
	割合	20.9%	8.6%	7.9%	15.2%	10.9%	13.2%	12.3%	6.6%	1.5%	2.9%	100%